2013年８月６日

各　位

会 社 名　　日本たばこ産業株式会社
代 表 者 名　代表取締役社長　小泉 光臣
（コード番号 2914　東証　第一部）
問合せ先　　ＩＲ広報部（TEL 03-3582-3111（代表））

テーブルマーク株式会社における会社分割による持株会社体制への移行準備の開始に関するお知らせ

当社の連結子会社であるテーブルマーク株式会社が、別添のとおり、会社分割による持株会社体制への移行準備の開始に係る公表をいたしましたのでお知らせします。

なお、当該組織再編は当社グループの加工食品事業セグメント内の体制の変更であり、連結業績への影響は軽微です。

以上

2013年8月6日

各　位

会 社 名：テーブルマーク株式会社
代表者名：代表取締役社長　日野　三代春
問合せ先：経営企画部　広報室長　小野　功爾
（TEL：03-3546-6802）

会社分割による持株会社体制への移行準備の開始について

当社は、取締役会において、2014 年4月1日を目途に持株会社体制に移行するための準備に入ることを決議いたしましたので下記の通りお知らせいたします。

なお、持株会社体制への移行は、2013年10月上旬に開催予定の当社臨時株主総会において関連議案が承認可決されること及び必要に応じ所管官公庁の許認可が得られることが前提条件となります。詳細事項につきましては、決定次第改めてお知らせいたします。

記

１．持株会社体制への移行目的

当社グループを取り巻く事業環境は、国内の少子高齢化やライフスタイルの変化に伴う消費者ニーズの多様化、食糧の世界的需要の高まりを背景とした原材料の高騰、急激な為替変動など大きく変動しております。こうした中、持続的な利益成長を実現するためには、これまで以上に「変化への対応力」を備えた、機動的かつ競争力のある事業運営体制の構築が必要と認識しております。

当社グループは、2008年7月のJT食品事業部門とテーブルマーク株式会社（旧株式会社加ト吉）の経営統合以降、注力分野に専念できる事業基盤の再構築を進め、現在を“新たな「成長」ステージ”と位置付け、冷凍・常温加工食品、ベーカリー、調味料の着実な成長と市場におけるプレゼンスの早期確立に向け取り組んでおります。

このような状況を踏まえ、今般、会社分割により、当社の冷凍・常温加工食品に係る事業については、これまで以上に事業運営に集中できる体制とし、事業推進力を強化することが必要であると判断しました。また、純粋持株会社となる当社については、引き続きグループ全体の視点から監査、経営企画、食の安全管理などの機能を担い、グループ全体としての成長スピードを更に加速させてまいります。

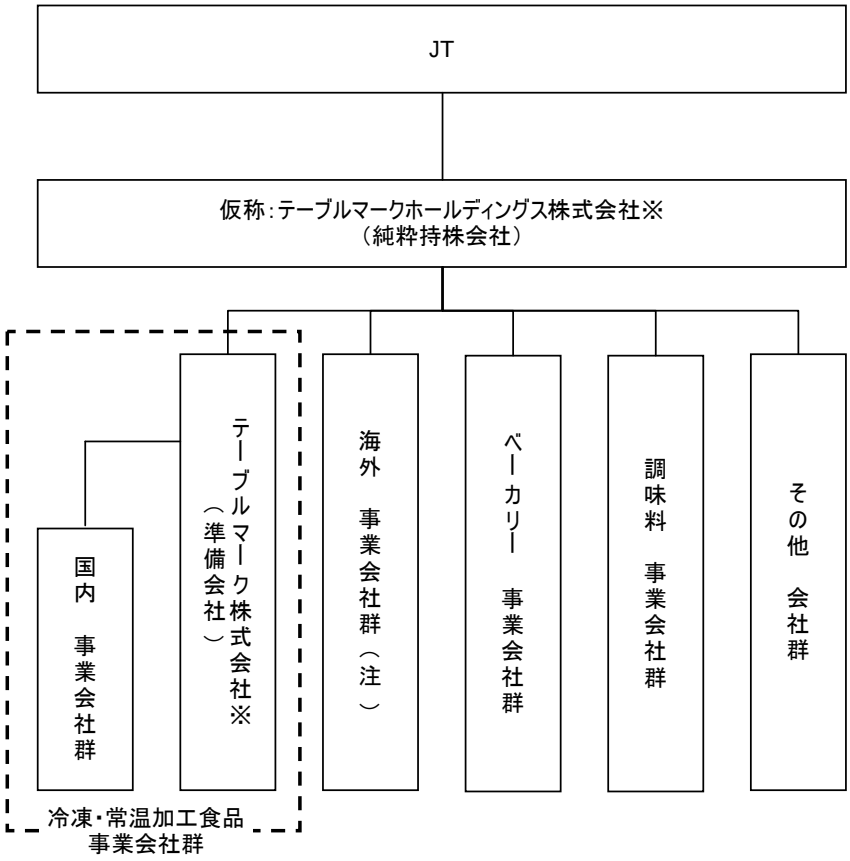
２．持株会社体制への移行方法

持株会社体制への移行は、当社が営む冷凍・常温加工食品に係る事業を当社の 100%子会社（以下、「準備会社」といいます）に承継させる吸収分割方式を想定しております。会社分割後の当社は、冷凍・常温加工食品を含む各事業の子会社群の株式を保有する純粋持株会社となります。

３．持株会社体制への移行スケジュール（予定）

2013 年９月上旬	分割契約書の取締役会承認
2013 年 10 月上旬	分割契約書の株主総会承認
2014 年４月１日	分割効力発生日、持株会社体制に移行

４．持株会社体制に移行後のグループ体制（予定）



※効力発生日（2014年4月1日）において、当社の商号を新社名（仮称：テーブルマークホールディングス株式会社）に、準備会社の商号を「テーブルマーク株式会社」に変更予定。

（注）「海外 事業会社群」は、本施策の対象外の予定。

以　上